

6616



# 2026年3月期 通期 決算説明資料

2026年 5月20日

トレックス・セミコンダクター株式会社

世界は「アナログ」でできている

あらゆるフィールドで活躍するトレックスの電源IC



**1**

**2026年3月期 通期業績**

**2**

**2027年3月期 業績予想**

**3**

**株主還元**

**4**

**トピックス**

**Appendix**

# 2026年3月期 通期業績

▶ **トレックスは、全ての地域で売上が回復、経費削減の効果もあり、増収増益**

▶ **フェニテックにおいても、全ての地域で売上が回復、経費削減の効果もあり、増収増益**

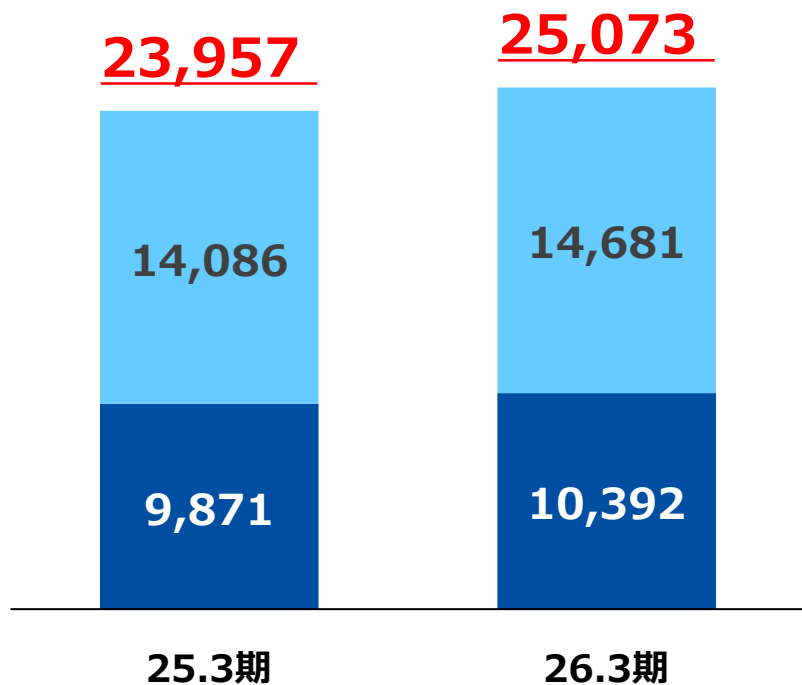
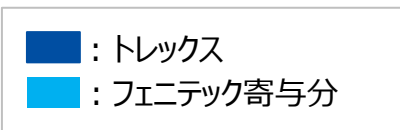
▶ **対業績予想は、売上は想定通りだったものの、利益面では、為替の影響などから、5/11に上方修正を発表**

(単位：百万円)

|                     | 25.3期通期<br>実績 | 26.3期通期<br>実績 | 対前年同期比<br>増減率 |
|---------------------|---------------|---------------|---------------|
| 売上高                 | 23,957        | 25,073        | 4.7%          |
| 営業利益                | ▲632          | 1,085         | -             |
| 営業利益率               | ▲2.6%         | 4.3%          | 6.9pt         |
| 経常利益                | ▲820          | 1,268         | -             |
| 親会社株主に<br>帰属する当期純利益 | ▲2,358        | 1,159         | -             |
| EPS (円)             | ▲214.62       | 109.38        | -             |
| 海外売上高比率 (*1)        | 69.4%         | 68.2%         | ▲1.2pt        |
| 平均為替レート (1\$=)      | ¥152.4        | ¥150.9        | -             |
| 減価償却費               | 2,468         | 1,971         | ▲20.1%        |
| 設備投資                | 2,950         | 2,273         | ▲22.9%        |

(\*1)海外売上高比率：外貨建て売上比率

(単位：百万円)



## ➤ トレックス

- 全ての地域が回復し、増収
- 車載機器以外の全ての分野で回復

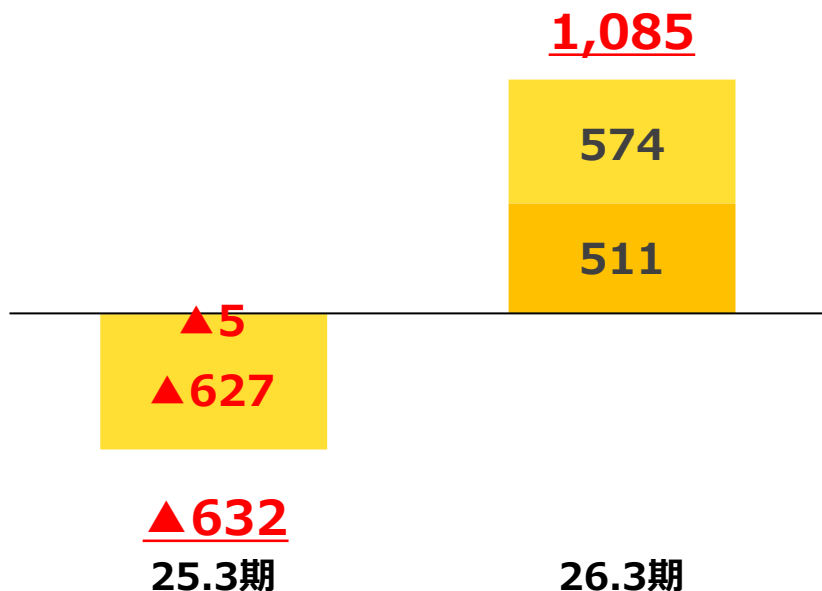
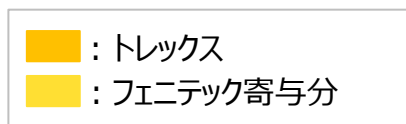
## ➤ フェニテック

- 全ての地域が回復し、増収
- 産業機器以外の全ての分野で回復

(単位：百万円)

|     | 25.3期 実績 | 26.3期 実績 | 対前年同期比増減率 |
|-----|----------|----------|-----------|
| 売上高 | 23,957   | 25,073   | 4.7%      |

(単位：百万円)



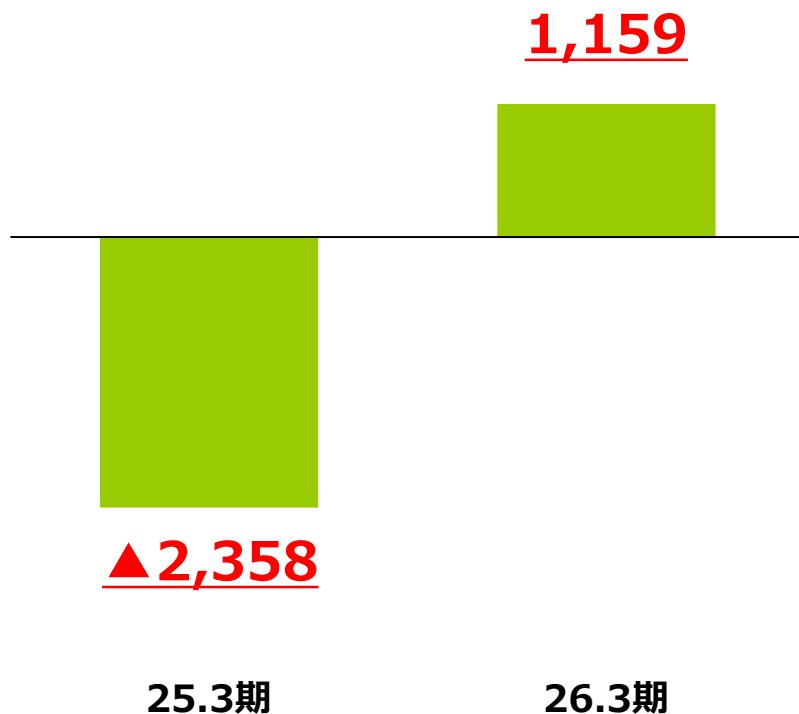
- トレックス
- フェニテック

- 売上の増加と経費抑制の  
取組みの効果により増益

(単位：百万円)

|      | 25.3期 実績 | 26.3期 実績 | 対前年同期比増減率 |
|------|----------|----------|-----------|
| 営業利益 | ▲632     | 1,085    | -         |

(単位：百万円)



営業利益の増加と、為替差益の発生、前期に生じた減損損失の影響などにより、増益

※25.3期 為替差損 271百万円  
減損損失 1,115百万円  
26.3期 為替差益 162百万円

(単位：百万円)

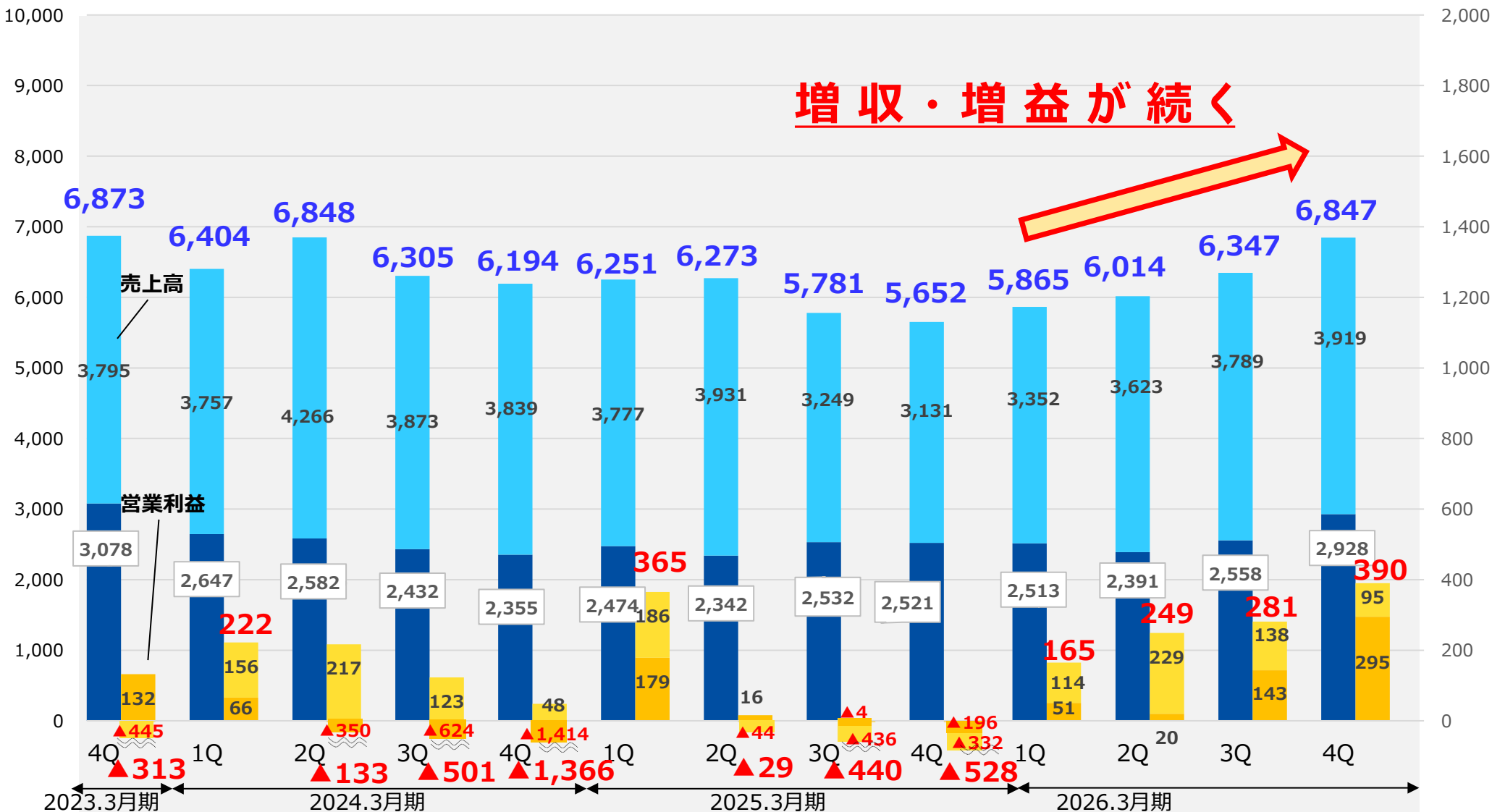
|       | 25.3期 実績 | 26.3期 実績 | 対前年同期比増減率 |
|-------|----------|----------|-----------|
| 当期純利益 | ▲2,358   | 1,159    | -         |

# 売上高・営業利益の四半期推移



(左軸：売上高) トレックス : ■ ■  
 (単位：百万円) フェニテック : ■ ■

(右軸：営業利益)  
 (単位：百万円)



(単位：百万円)

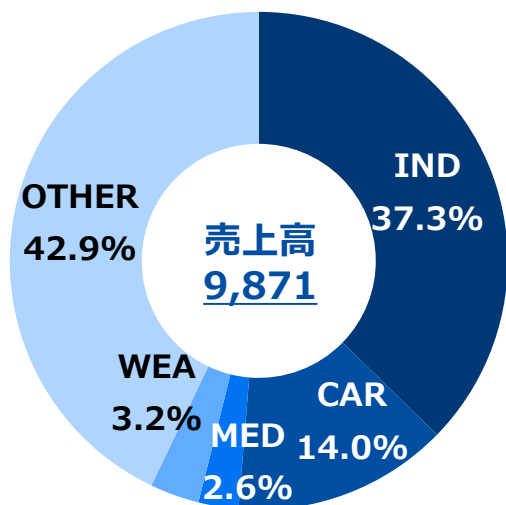
|     | 25年3月期末 | 26年3月期末 | 対前期末増減 |
|-----|---------|---------|--------|
| 資産  | 33,607  | 35,801  | 2,194  |
| 負債  | 16,207  | 17,040  | 833    |
| 純資産 | 17,400  | 18,761  | 1,361  |

## <参考> キャッシュ・フロー関連指標の推移

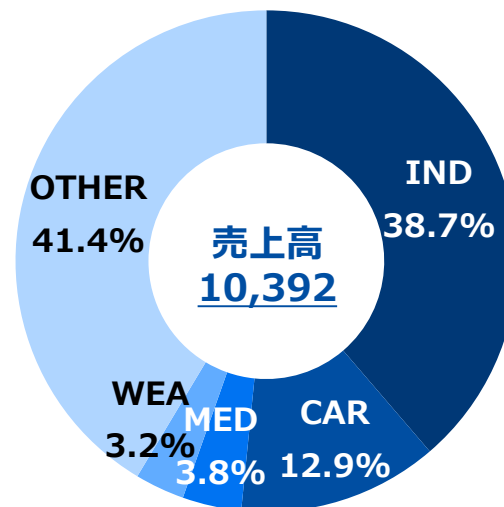
|        | 25年3月期末 | 26年3月期末 | 対前期末増減  |
|--------|---------|---------|---------|
| 有利子負債  | 12,984  | 13,037  | 53      |
| 自己資本比率 | 51.8%   | 52.4%   | 0.6pt   |
| D/Eレシオ | 0.74    | 0.70    | ▲0.04pt |

# トレックス／フェニテック 各単体

TOIREX



25.3期 実績



26.3期 実績

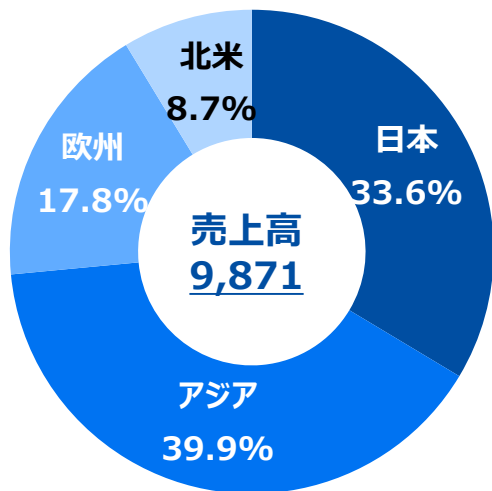
(単位：百万円)

| アプリケーション     | 25.3期 |       | 26.3期 |       | 対前年同期比<br>増減率 |
|--------------|-------|-------|-------|-------|---------------|
|              | 売上高   | 構成比   | 売上高   | 構成比   |               |
| IND 産業機器     | 3,686 | 37.3% | 4,007 | 38.7% | 8.7%          |
| CAR 車載機器     | 1,379 | 14.0% | 1,344 | 12.9% | ▲2.5%         |
| MED 医療機器     | 253   | 2.6%  | 399   | 3.8%  | 57.7%         |
| WEA ウェアラブル機器 | 315   | 3.2%  | 337   | 3.2%  | 7.0%          |
| OTHER その他機器  | 4,238 | 42.9% | 4,305 | 41.4% | 1.6%          |

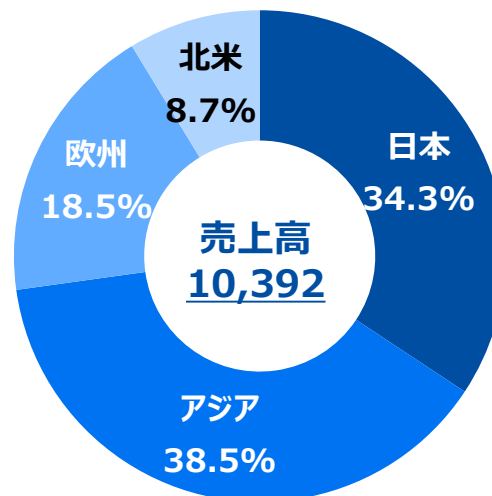
※注：アプリケーションの分類は変更することがあります。

# 2026年3月期 ～地域別売上高（トレックス）

TOIREX



**25.3期 実績**

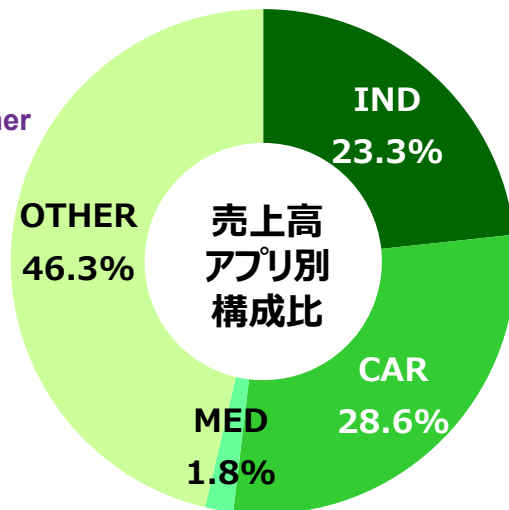


**26.3期 実績**

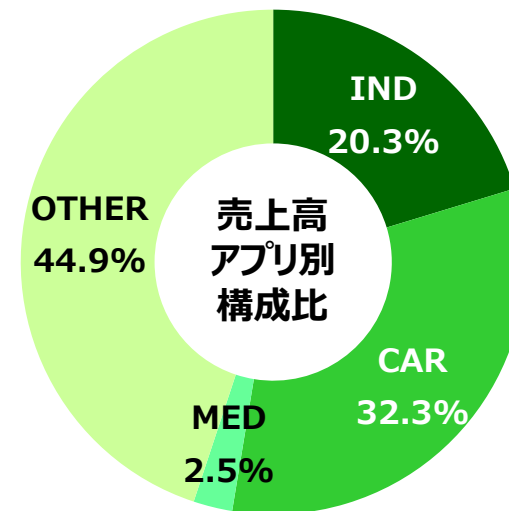
(単位：百万円)

| 地域 (D-in)      | 25.3期    |       | 26.3期    |       | 対前年同期比<br>増減率 |
|----------------|----------|-------|----------|-------|---------------|
|                | D-in 売上高 | 構成比   | D-in 売上高 | 構成比   |               |
| 日本             | 3,317    | 33.6% | 3,567    | 34.3% | 7.5%          |
| アジア            | 3,942    | 39.9% | 4,000    | 38.5% | 1.5%          |
| 欧州             | 1,754    | 17.8% | 1,920    | 18.5% | 9.5%          |
| 北米             | 858      | 8.7%  | 905      | 8.7%  | 5.5%          |
| 平均為替レート (1\$=) | 152.4円   |       | 150.9円   |       |               |

D-in 売上高：デザイン・イン・ベース売上高。当社の製品を搭載した製品が企画・設計され、実質的に受注を獲得した地域をベースとした売上高



**25.3期 実績**



**26.3期 実績**

(単位：百万円)

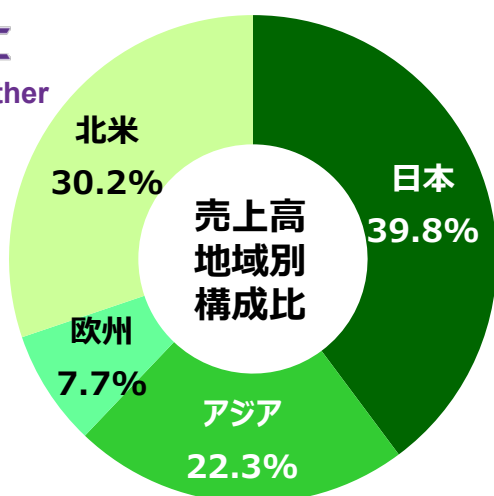
| アプリケーション    | 25.3期 |       | 26.3期 |       | 対前年同期比<br>増減率 |
|-------------|-------|-------|-------|-------|---------------|
|             | 売上高   | 構成比   | 売上高   | 構成比   |               |
| IND 産業機器    | 3,553 | 23.3% | 3,326 | 20.3% | ▲6.4%         |
| CAR 車載機器    | 4,372 | 28.6% | 5,286 | 32.3% | 20.9%         |
| MED 医療機器    | 281   | 1.8%  | 409   | 2.5%  | 45.9%         |
| OTHER その他機器 | 7,060 | 46.3% | 7,333 | 44.9% | 3.9%          |

※注：アプリケーションの分類は変更することがあります。

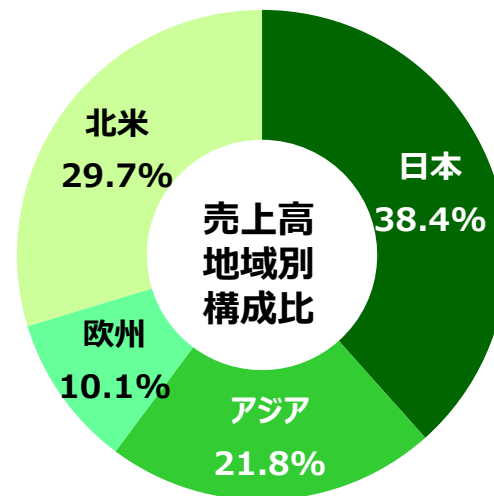
トレックス・セミコンダクター向けの内部取引分を含みます。

お客様から用途を開示頂けない製品は、その他機器に含めております。

# 2026年3月期 ～地域別売上高（フェニテック）



25.3期 実績



26.3期 実績

※ 顧客の所在地別に区分しています。

(単位：百万円)

| 地域（顧客）        | 25.3期  |       | 26.3期  |       | 対前年同期比<br>増減率 |
|---------------|--------|-------|--------|-------|---------------|
|               | 売上高    | 構成比   | 売上高    | 構成比   |               |
| 日本            | 6,073  | 39.8% | 6,278  | 38.4% | 3.4%          |
| アジア           | 3,398  | 22.3% | 3,559  | 21.8% | 4.7%          |
| 欧州            | 1,182  | 7.7%  | 1,653  | 10.1% | 39.8%         |
| 北米            | 4,613  | 30.2% | 4,865  | 29.7% | 5.5%          |
| 平均為替レート（1\$=） | 152.4円 |       | 150.9円 |       |               |

※注：日本には、トックス・セミコンダクター向けの内部取引分を含む

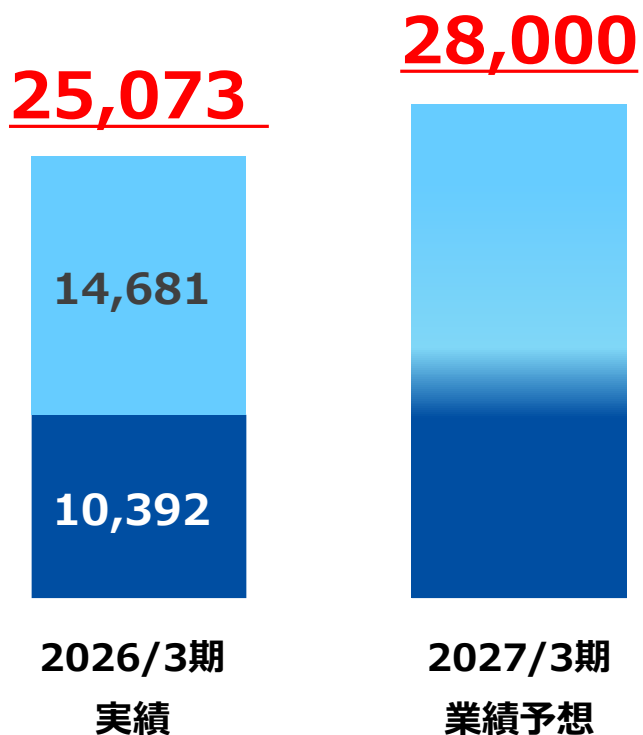
# 2027年3月期 業績予想

(単位：百万円)

|                     | 26.3期<br>通期実績 | 27.3期<br>業績予想 | 対前年<br>同期比<br>増減率 | 備考                    |
|---------------------|---------------|---------------|-------------------|-----------------------|
| 売上高                 | 25,073        | 28,000        | + 11.7%           |                       |
| 営業利益                | 1,085         | 1,300         | + 19.8%           |                       |
| 営業利益率               | 4.3%          | 4.6%          | + 0.3pt           |                       |
| 経常利益                | 1,268         | 1,300         | + 2.5%            |                       |
| 親会社株主に<br>帰属する当期純利益 | 1,159         | 1,400         | + 20.7%           | ※TVSの譲渡益6億円<br>程度を見込む |
| EPS (円)             | 109.38        | 132.17        | -                 |                       |
| 平均為替レート (1\$=)      | ¥150.9        | ¥155.0        | -                 |                       |
| 減価償却費               | 1,971         | 2,000         | + 1.5%            |                       |
| 設備投資                | 2,273         | 1,600         | ▲ 29.6%           |                       |

(単位：百万円)

■ : トレックス  
 ■ : フェニテック寄与分



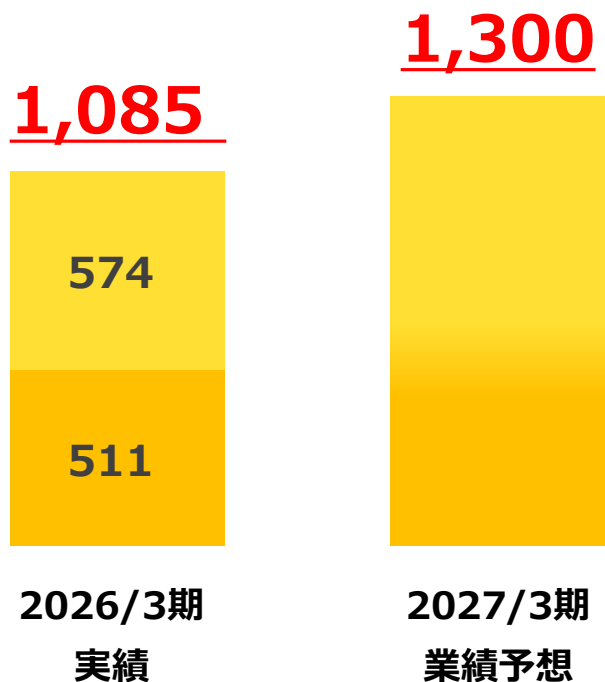
前期からの半導体市況の継続的な回復を想定し、増収と予想

(単位：百万円)

|     | 2026年3月期 実績 | 2027年3月期 業績予想 | 対前年増減率 |
|-----|-------------|---------------|--------|
| 売上高 | 25,073      | 28,000        | +11.7% |

(単位：百万円)

■ : トレックス  
 ■ : フェニテック寄与分



売上の増加とそれに伴う粗利率の改善と社内改善活動による経費の低減により、増益と予想

(単位：百万円)

|      | 2026年3月期 実績 | 2027年3月期 業績予想 | 対前年増減率 |
|------|-------------|---------------|--------|
| 営業利益 | 1,085       | 1,300         | +19.8% |

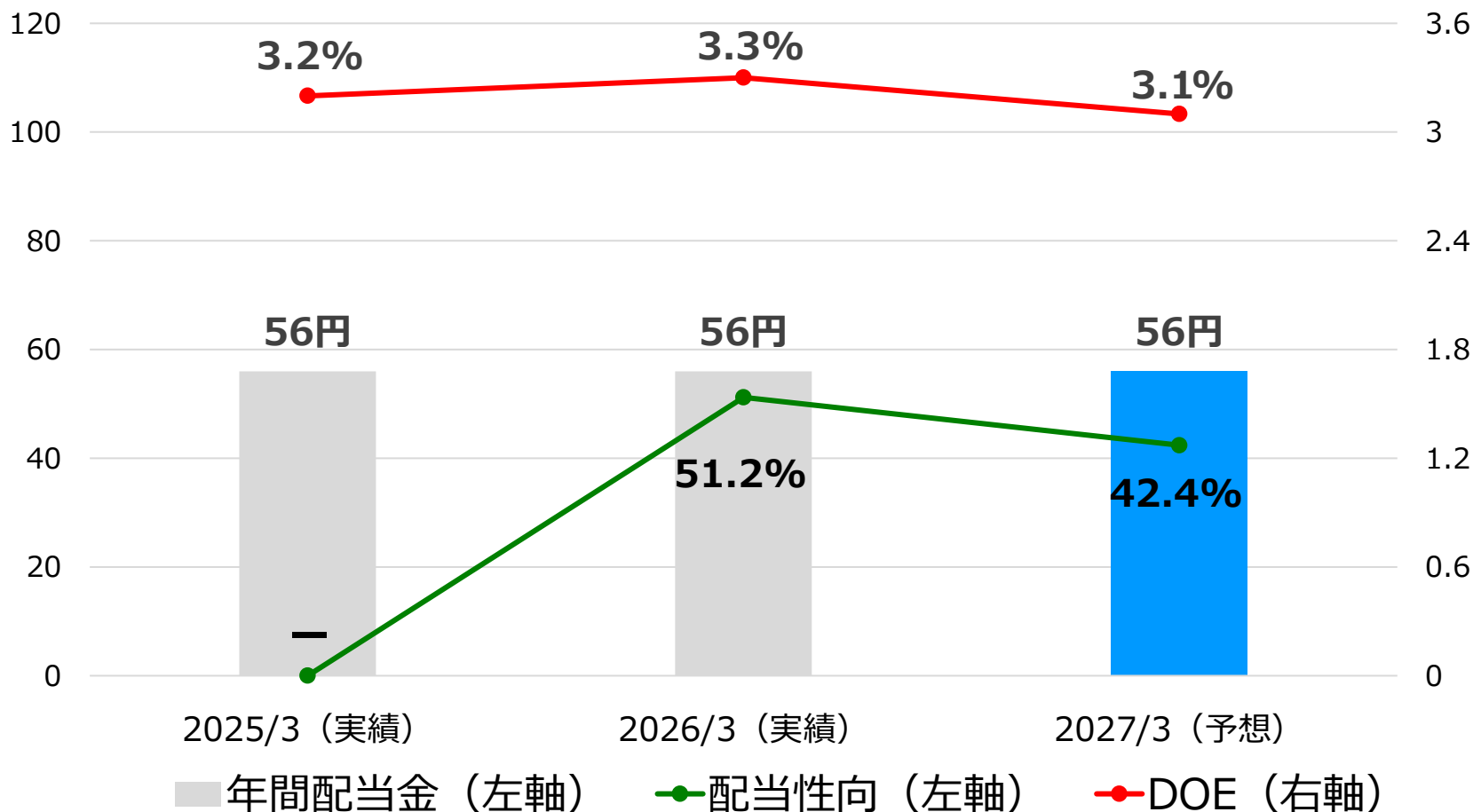
# 株主還元

配当につきましては、業績水準を反映した利益配分として  
**連結配当性向20%以上**、安定的かつ継続的な株主還元  
の拡充として**株主資本配当率（D O E）3%程度**を当面  
の目標として実施しております。

## 連結配当性向20%以上、D O E 3%程度を目標として還元

配当金：円  
配当性向：%

DOE：%



# トピックス

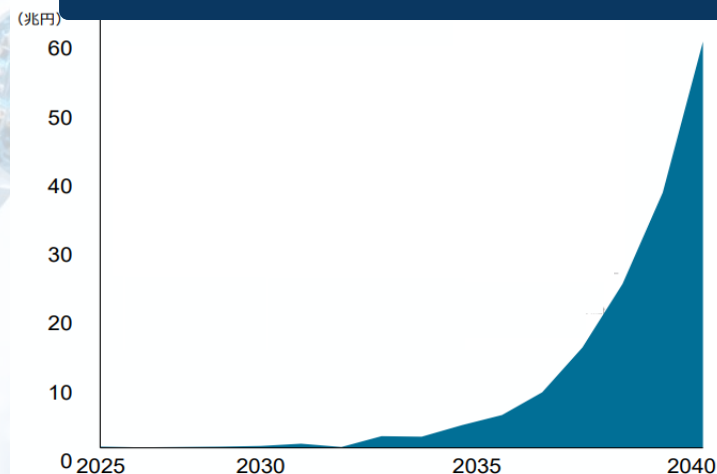
# トレックス・セミコンダクター

## 多用途ロボット市場

- ・ 2040年までに約60兆円規模となる見込み
- ・ 特に**フィジカルAI技術**に注目

これまで人が判断・作業していた領域をロボットが自律的にカバーすることで、人手不足の解消や生産性の向上に大きく貢献すると期待される。

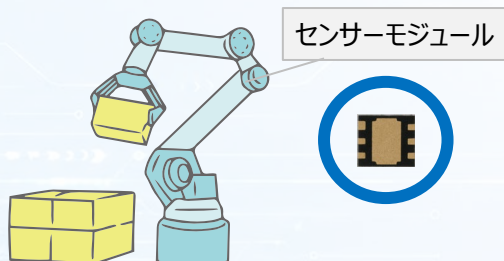
多用途ロボット市場 (ベースシナリオ)



(出典) マッキンゼー・アンド・カンパニー社

### 【製造・物流】

生産ライン最適化



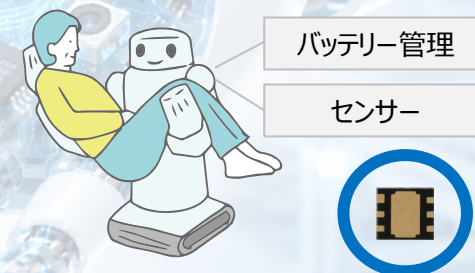
### 【モビリティ】

自動運転、事故回避行動



### 【医療介護支援】

ロボットによる作業支援  
医療・介護支援、搬送ロボット



各機器において、トレックスの強みである小型・省電力な電源ICの活躍が期待できます。

## TRX製品が支えるロボット電源構成

半導体がロボット技術を支える

### ロボットの駆動・センシング・制御を支える、中高耐圧DCDCコンバータを拡充中

- 産業用ロボット/ヒューマロイドロボットは24V~48V電源が主流
- 入力電源電圧には中高耐圧製品が必須
- 小型・省電力の電源ICでセンサー/MCU/モーターを高効率に駆動

#### ロボット動作に必要な基本電源構成例



#### 中高耐圧DCDCコンバータ製品 (赤字: 新製品)

| シリーズ       | 電気的特性      | 特長                  |
|------------|------------|---------------------|
| XCL247/248 | 36V、600mA  | コイル一体型              |
| XC9704/05  | 36V、600mA  |                     |
| XC9714     | 36V、2000mA | 実装エリア 10.8×8.8 (mm) |
| XC9702     | 60V、300mA  |                     |
| XC9711     | 60V、1000mA |                     |
| XM981A     | 60V、6000mA | ¼出力、1500mA/個 最大4並列可 |

半導体がロボット技術を支える

## 制御マイコン

電源IC： 高効率DCDCコンバータ

## 各種センサ用（カメラ、回転、温度、など）

電源IC： 超低消費電流LDO

## 通信用LSI（CAN、BT、WiFi など）

電源IC： 低ノイズ高効率DCDCコンバータ

## 電圧検出／リセットIC

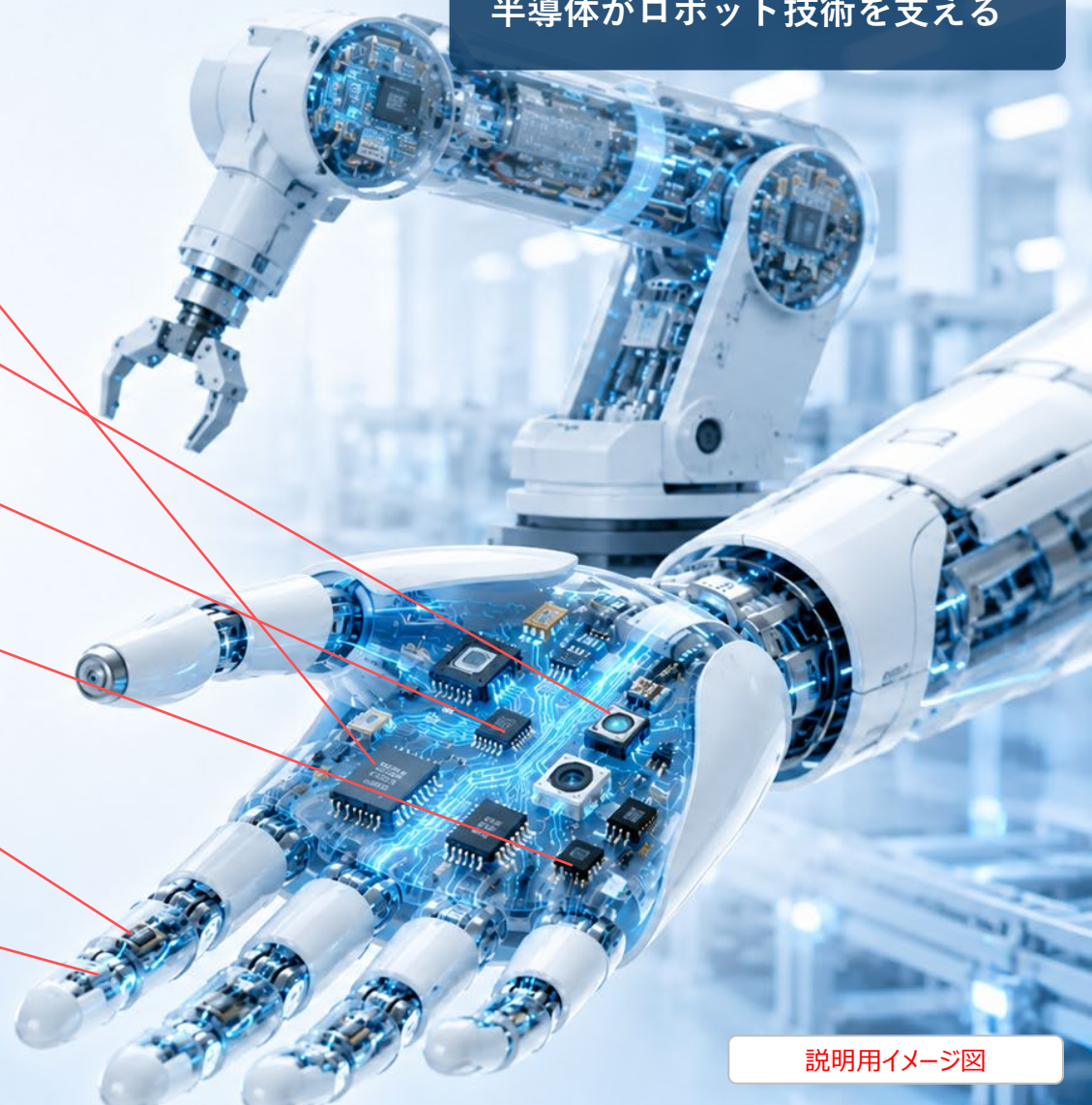
電圧監視、誤動作防止、マイコン暴走防止

## モーター用ローカル電源（関節毎に必要）

電源IC： パワーMOSFET、ラインスイッチ

## パワーMOSFET

電源供給のON/OFFや分離に**数多く必要**



説明用イメージ図

フィジカルAIは、現実世界の物理空間に直接作用するAIで、センサーを使用して周辺の情報キャッチし、マイコンで情報処理を行い、モーターなどを使用して実際に動作をさせるものです。

ヒューマノイドロボットなどはイメージし易いと思います。

**TRXが培ってきた小型で省電力の電源ICは、センサーやマイコン、モーターなど多くの部分で実際に動作を伴う際に、高性能に活躍できるICとなります。**

**トレックスの電源ICは、省電力/小型のスペックが評価されています。**

## 2025年度



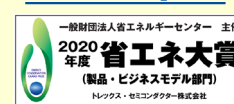
日刊工業新聞主催  
XC9704/05シリーズ  
降圧DC/DCコンバータ

## 2023年度



日刊工業新聞主催  
XC9145シリーズ  
DC/DCコンバータ

## 2023年度



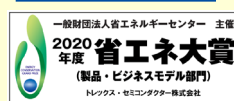
省エネルギーセンター主催  
XC8110/  
XC8111シリーズ  
ロードスイッチIC

## 2022年度



日刊工業新聞主催  
XC8110/  
8111シリーズ  
ロードスイッチIC

## 2020年度



省エネルギーセンター主催  
XC9276シリーズ  
DC/DCコンバータ

## 2019年度

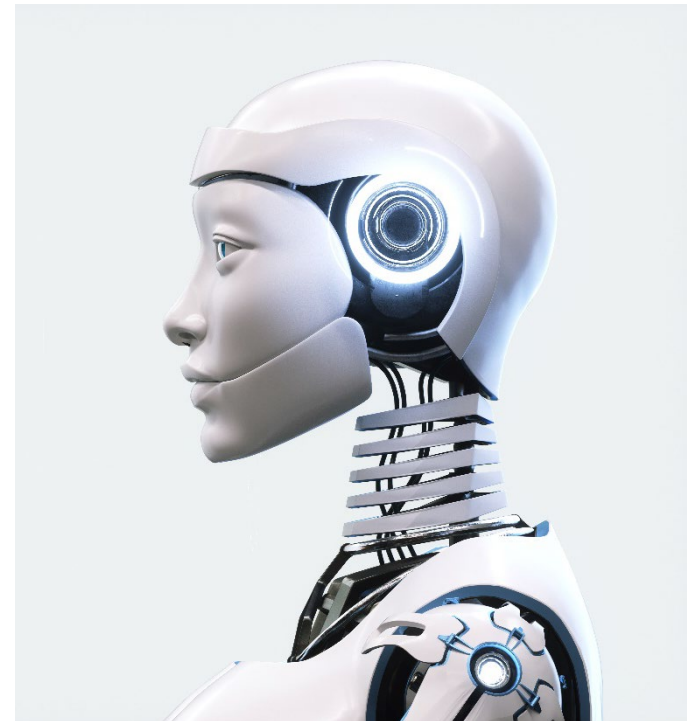


日刊工業新聞主催  
XC9281/  
XC9282シリーズ  
DC/DCコンバータ

## 2018年度



経済産業省主催  
XC9265シリーズ  
DC/DCコンバータ



**11月17日に半導体製品の世界的IDMメーカーであるPANJIT社と、当社の後工程を行うTVS社の持分の95%を譲渡する契約を締結。今期中には譲渡完了予定で、譲渡益は6億円程度を想定。**

|                    |  |
|--------------------|--|
| 名称                 | PANJIT INTERNATIONAL INC.  |
| 所在地                | No. 24, Gangshan N. Rd., Gangshan Dist., Kaohsiung City , Taiwan |
| 売上高<br>(2023年12月期) | 12,707,319千台湾ドル<br>(597億24百万円 / 1台湾ドル=4.7円換算)                    |

## トレックスグループのメリット

**PANJIT社の製造技術力と、ファブレスメーカーである当社の設計開発力を活かし、相互にシナジー効果を発揮。**

**パッケージ技術の高度化と全体的な競争力を向上**

|         |  |
|---------|--|
| 持分譲渡割合  | 95%  |
| 譲渡価額    | 10,032,000米ドルを基準として、譲渡実行日時点のTVS社の純資産価額に応じて調整された一定の金額 |
| 譲渡契約締結日 | 2025年11月17日  |
| 持分譲渡実行日 | TVS社の所有権移転に係る手続き完了後、一定の日                             |



左から: PANJIT社 代表取締役社長 Jeff Fang氏と  
トレックス 代表取締役社長 木村岳史

※同社IR資料より抜粋

# フェニテックセミコンダクター

ファウンドリ受託

SiC

GaN

GaAs

Ga<sub>2</sub>O<sub>3</sub>

主要化合物半導体(SiC・GaN・GaAs・Ga<sub>2</sub>O<sub>3</sub>) デバイスの  
ファウンドリをフレキシブルに受託できるのが、当社の“強み”です

ファウンドリ

Ga<sub>2</sub>O<sub>3</sub>

経済安全保障重要技術育成プログラム 研究テーマ  
「β-Ga<sub>2</sub>O<sub>3</sub>ウェハ、パワーデバイス及びパワーモジュールの開発」

✓ ノベルクリスタルテクノロジー社を中心とした取組み  
「β-Ga<sub>2</sub>O<sub>3</sub>パワーデバイスの開発」に、プロセス開発を通して参画

開発中

・ MOSFET

他ファウンドリ案件

開発中

・ SBD

## SiC 新製品開発

SBD

量産中

**自社開発品** ✓ スピーディなシリーズ拡充で市場要求に対応

- ・第4世代 量産中
- ・拡販サンプル提供中/顧客評価中
- ・目標耐圧2200V,3300V品を開発中

MOS FET

プレーナー型

トレンチ型

**自社開発品** ✓ 電流ラインナップシリーズ展開 試作中

- ・サンプル提供中/顧客評価中 27.3期Q2量産予定
- ・高耐圧品開発に着手 目標耐圧2200V,3300V品を開発中
- ・1200V品開発中

バリキャップ

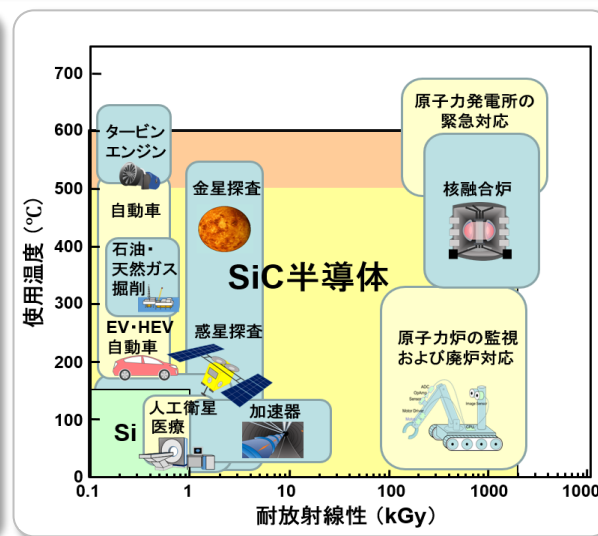
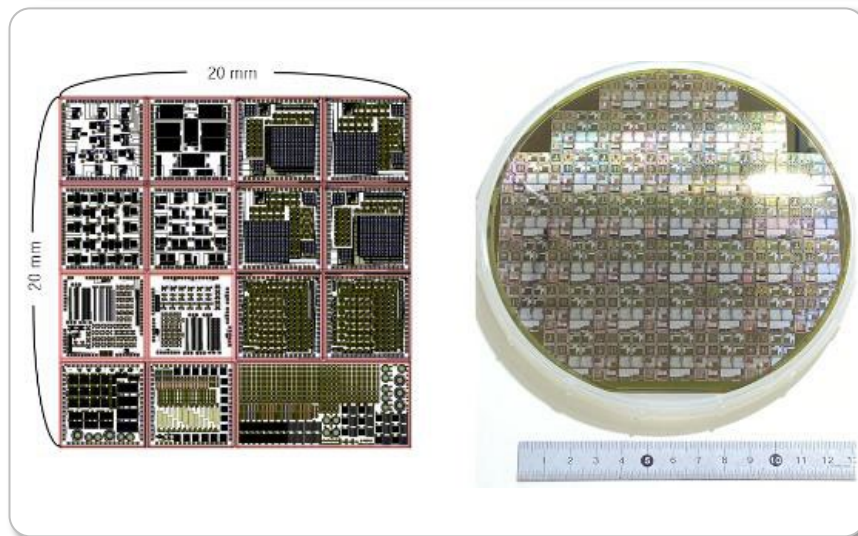
**自社開発品**

- ・28.3期 量産を目指し開発中

## SiCIC社会実装プロジェクト

### プロジェクト目的

原発の廃炉対応や金星探査など高温／高放射線などの極限環境  
 応用に向けたSiC LSIのプラットフォームの立上げを目的とする  
 広島大学との共同研究



## Next Steps

- ・CMOS,PDの基本動作確認済,実測値から設計を最適化

## Si製品開発

新たなパワーデバイス開発により更なる売上アップを目指す

### SGT MOSFET

※SGT : Sprit Gate

**60V** プロセス開発成功し、狙い特性獲得

- ・27.3期Q1 量産予定
- ・製品ラインナップ拡充を継続

**30V**

**40V**

**100V**

**150V**

### HDT MOSFET

**開発開始**

※HDT : High Density Trench

◆新素子構造によりセルを高密度化、低オン抵抗化を実現

**20V**

**30V**

- ・28.3期Q2 サンプル出荷を目指す

### SSGT MOSFET

**開発開始**

※SSGT : Super Sprit Gate

◆加工技術ブレークスルーにより、SGT MOSFETより更なる高密度化、超低オン抵抗化を実現

- ・29.3期Q3 サンプル出荷を目指す

## ファウンドリ受託

## 岡山第1工場

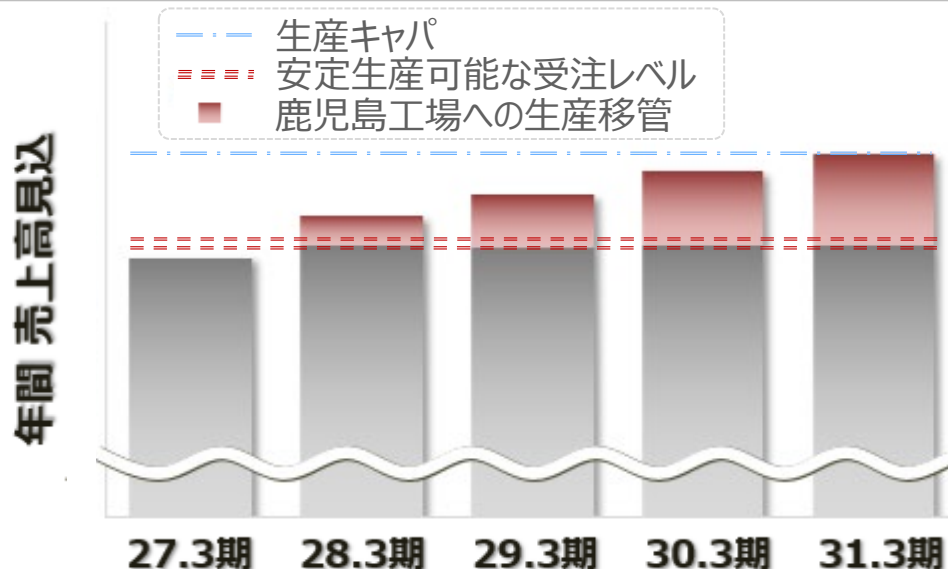
車載実績

半世紀の半導体  
供給実績・信頼性

サプライチェーン  
強靱化

- ✓ サプライチェーン強靱化の流れより、既存量製品の受注伸張見込み
- ✓ 鹿児島工場へ生産移管を進め、市況変動に対応可能な生産体制へ

## 年間売上高見込み



## ファウンドリ受託

## 鹿児島工場

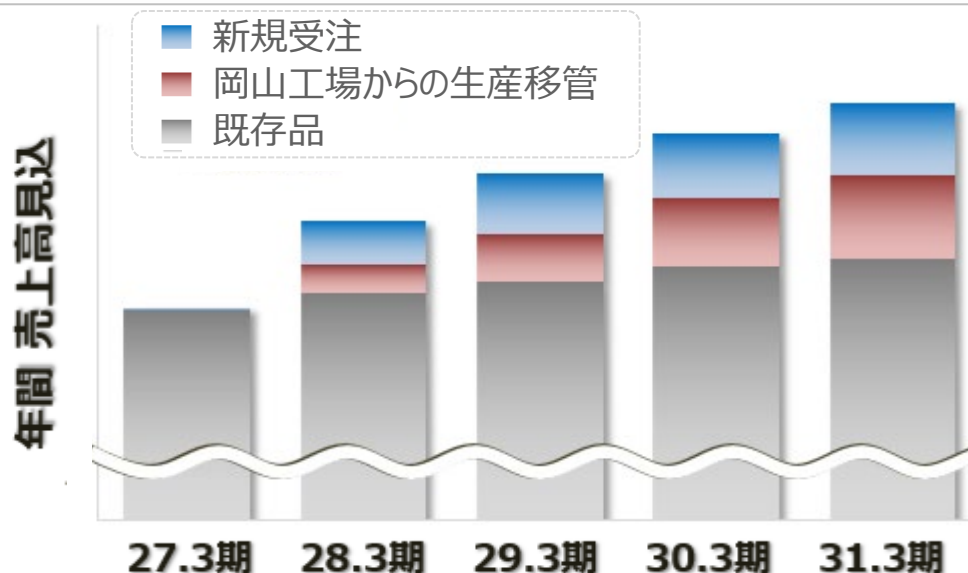
幅広い  
品種受注体制

生産拠点の移管

新規受注

✓ **新規受注案件増加・岡山第1工場からの生産移管製品により、  
売上高伸張の見込み**

### 年間売上高見込み

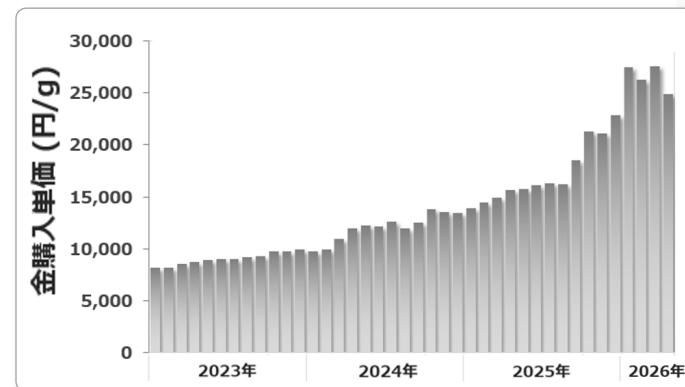


## 金(ゴールド)市場価格高騰の影響

当社主力製品 小信号ディスクリットなど 電極として金が使用されている製品

### 金市場価格高騰により調達コスト上昇

補助材料費用が大きく上昇し、対象製品の収益性が悪化



## 今後の取組み

金使用全製品を対象に顧客と協力し問題解決へ

### ① 金価格上昇分の製品価格転嫁

- ・ 昨今の金価格上昇に応じた価格転嫁
- ・ 今後の金価格上昇に応じた価格転嫁

### ② 金使用量が少ない製品構造へシフト

- ・ 金厚さを薄く変更
- ・ 金を使用しない裏メタル構造へ変更

## 今後は対象製品の収益性改善を見込む

## 当社は半導体生産開始 50周年を迎えます

### 当社の半導体生産の歴史はここから始まりました

**1976年 岡山工場** 小信号スイッチングダイオード生産開始  
**鹿児島工場(旧 日本楽器製造株式会社)** 半導体生産開始

岡山工場(現 岡山第2工場)



鹿児島工場



お客様の多様なニーズに技術力と柔軟性で応え続けて...

小信号ディスクリート、パワー半導体、IC、光半導体、センサーなど様々な半導体製品をグローバルに供給し続けています

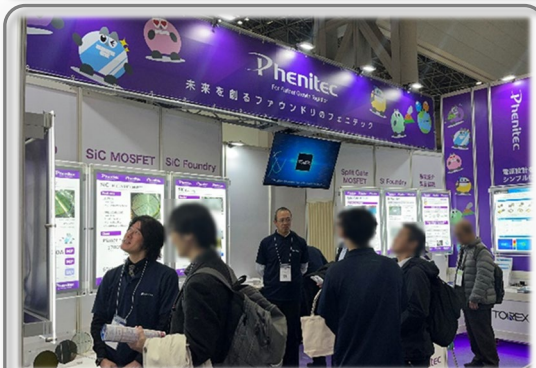
50年の歩みを支えてくださったステークホルダーの皆様へ

最大級の敬意と感謝を捧げると共に、培ってきた技術と信頼を礎に、新たな価値の創出に挑戦し続けます

## 第40回ネプコン ジャパン - エレクトロニクス開発・実装展 -

## 第27回 電子部品・材料 EXPO

### ネプコン ジャパン 電子部品・材料 EXPO に出展しました



開催日

2026年1月21日(水)～23日(金)

会場

東京ビッグサイト 東5ホール

出展内容

- ・ウエハファウンドリビジネス紹介(Si/SiC等)
- ・自社開発製品紹介(SiC/SGT MOSFETなど)

セミナー講演

貼り合わせSiC基板を使ったパワーデバイス開発

✓ ブース出展及びセミナー講演を通じて、ご来場の皆様方に当社サービス及び開発製品を広くPR

## 次回 出展

### 第41回ネプコン ジャパン - エレクトロニクス開発・実装展 -

開催日

2027年2月17日(水)～19日(金)

会場

東京ビッグサイト 東7ホール

出展内容

Si/SiCパワーデバイス紹介及びファウンドリ紹介

## ウェルビーイング経営2025認定証交付式

**開催日** 2026年2月13日(金)

**主催** 井原市ウェルビーイング経営  
推進協議会

**会場** 井原市地場産業振興センター



### 井原市ウェルビーイング経営2025

**目的** 井原市では、働くひとが生き生きと活躍できるよう、ウェルビーイング経営を推進し、働き方改革や働きがい改革の取組みを推進し、ウェルビーイング経営認定企業を表彰しています

今後も、社員一人ひとりが心身ともに満たされ、自分らしく輝くことができる幸福度の高い職場環境を追求し、持続可能な成長と社員の幸せが両立する企業を目指し、取り組んでまいります。

# Powerfully Small!

常に豊かな知性と感性を磨き、  
市場に適応した価値ある製品を創出し、  
豊かな社会の実現と  
地球環境の保全に貢献するとともに、  
私たちの事業に携わるすべての人々が  
共に繁栄すること



# Appendix 会社紹介

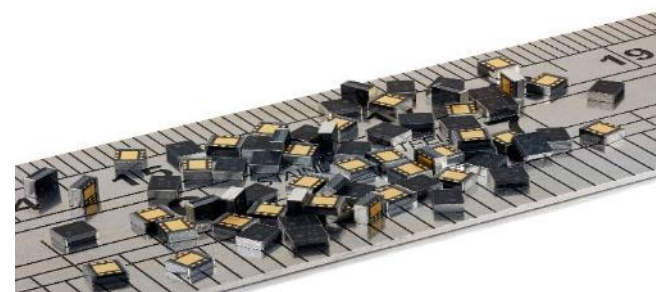
1995年に設立。2014年にJASDAQスタンダード市場に上場、東証二部、一部を経て、2022年4月に東証プライム市場に移行した半導体メーカーです。

アナログのチカラ

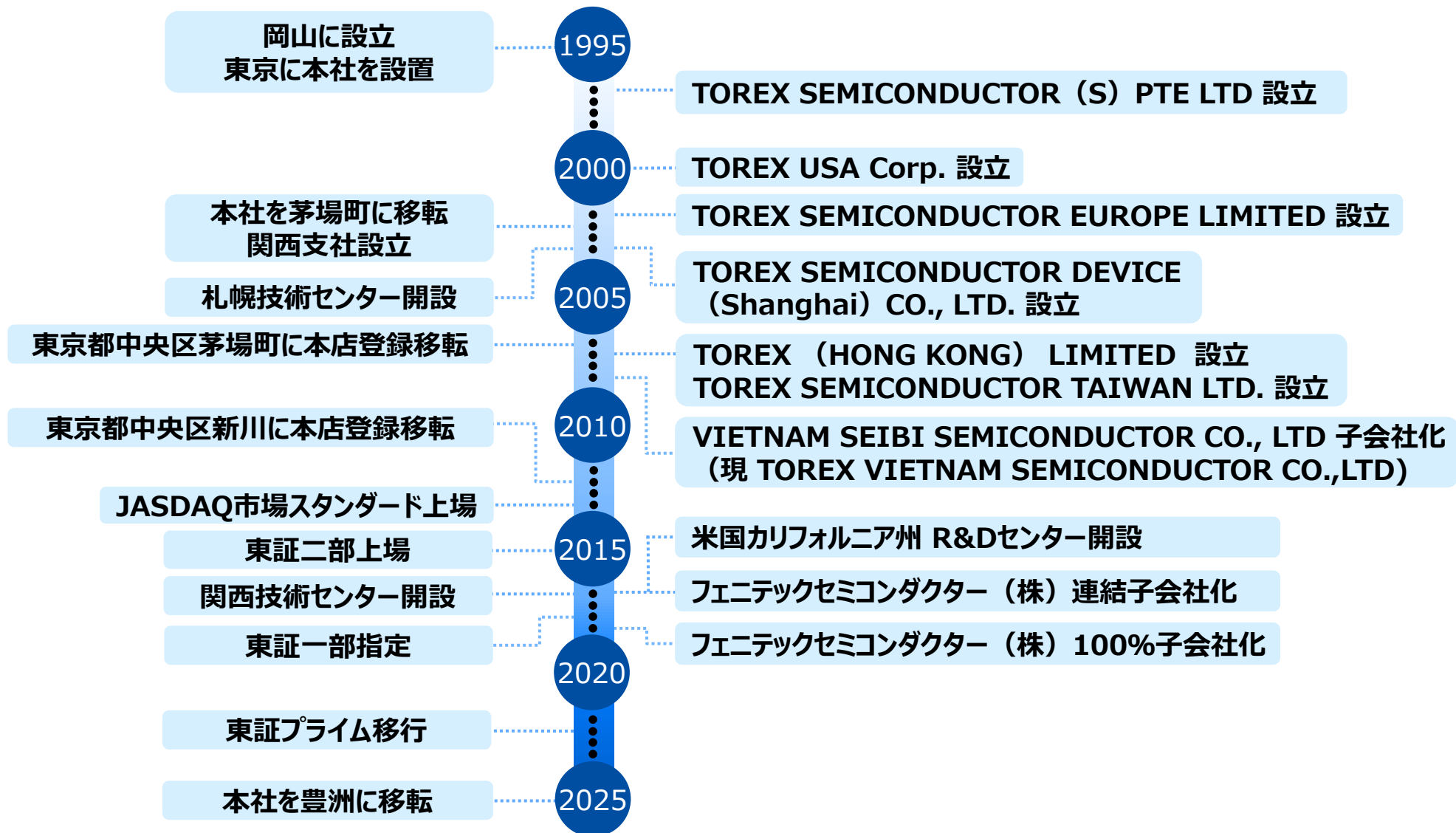
ABOUT TOREX

|         |   |
|---------|---|
| 所在地     | 東京都江東区豊洲6-4-34 メブクス豊洲 5階  |
| 代表者     | 代表取締役社長 木村 岳史   |
| 資本金     | 29億6793万円（2026年3月31日現在）   |
| 事業内容    | 1.半導体デバイスの開発、設計製造<br>2.半導体デバイスの販売                               |
| 従業員数    | 当社：185名 / グループ：1,038名   |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所 プライム市場  |
| 単元株式数   | 100株  |
| 決算期     | 3月末日  |
| 証券コード   | 6616  |
| URL     | <a href="https://www.torex.co.jp/">https://www.torex.co.jp/</a> |

常に豊かな知性と感性を磨き、市場に適応した価値ある製品を創出し、豊かな社会の実現と地球環境の保全に貢献するとともに、私たちの事業に携わるすべての人々が共に繁栄することを企業の理念とする。



電源IC一筋、**省電力・小型化**の技術でエレクトロニクス産業の発展に貢献してきました。



TOIREX



## トレックス・ セミコンダクター

**ファブレスメーカー  
アナログ電源IC専業**

強み

- ・省電力／小型化の技術
- ・蓄積されたアナログ回路ノウハウ
- ・マーケティングと製品企画力
- ・フレキシブルな生産工場
- ・高品質をキープするQC
- ・ワールドワイドの製品販売網

Phenitec  
For Further Growth Together



## フェニテック セミコンダクター

**半導体受託専業(ファウンドリ)  
ディスクリート、パワーデバイス、  
CMOSアナログプロセス**

強み

- ・高品質を支える生産ノウハウ
- ・長期安定供給のJapanFab
- ・車載 IATF16949取得工場
- ・専門性の高い製造対応力
- ・オリジナルデバイスの開発力
- ・パワーデバイスの開発力



## トレックス・ セミコンダクター グループ

- ・顧客第一に徹した、小回りの利く対応力
- ・積極的なコラボレーションやM&Aによる協力関係の構築

**ファブレス&ファウンドリ  
それぞれが本業を突き詰めたプロ集団となり、  
相互補完でシナジーを発揮する。**

- 国内に東京本社を含む 7 拠点、海外に9つの拠点を設け、世界の需要に対応しています。



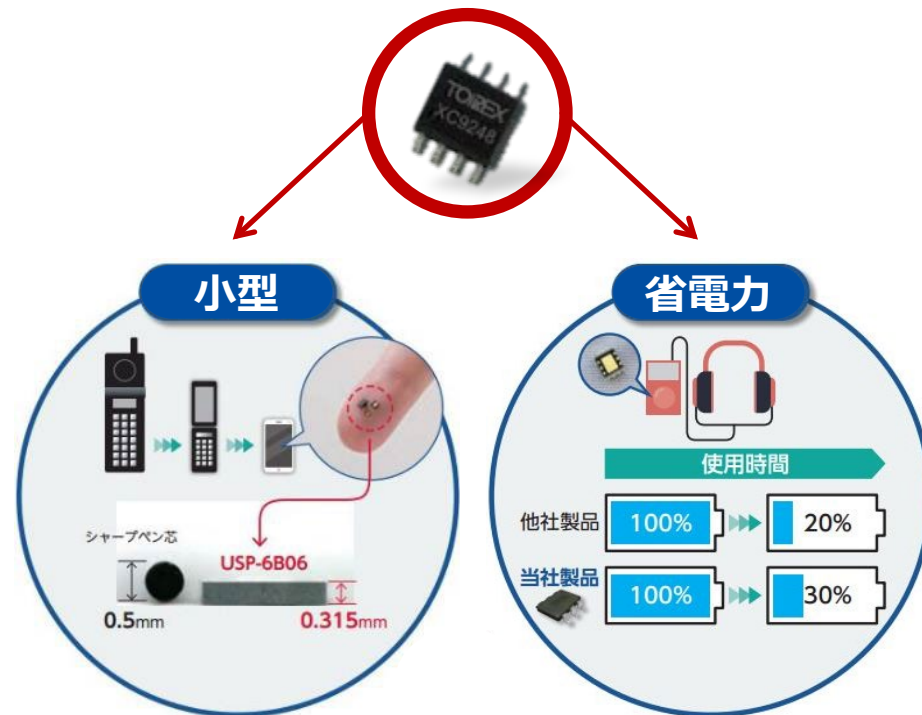
- 世界トップクラスの小型・省電力電源ICを開発・販売しています。

## 電源ICの役割



電子機器の様々な機能を動かすために  
電圧を制御し安定供給する

## TOIREXの電源IC



独自の技術で電子機器の  
小型化、省電力化に貢献

## ● 豊富な構造で、適材適所に対応するTRXの “ micro DC/DC ”

- ・ DC/DCコンバータとコイルを一体化することで、基板の実装面積を削減
- ・ 低ノイズ、小型、高放熱に優れ、あらゆるシーンで高効率で安定した電源回路構成が可能
- ・ 中高耐圧／大電流化に向け、更なる進化を続けています。

| 構造名  | ポケットタイプ   | スタックタイプ   | マルチプルタイプ  | クールポストタイプ   |
|------|---|---|---|---|
| 構造図  |   |   |   |   |
| 構造説明 | ICをコイルで覆ってしまう方法   | コイル上にICをスタックする方法  | コイルとICを横に並べる方法  | モールドされたICにコイルをスタックする方法  |
| 特徴   | <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 放射ノイズ</li> <li>◎ 近傍磁界</li> <li>△ コスト</li> <li>◎ 実装面積</li> <li>○ 大電流</li> <li>○ 放熱</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 放射ノイズ</li> <li>△ 近傍磁界</li> <li>◎ コスト</li> <li>○ 実装面積</li> <li>△ 大電流</li> <li>△ 放熱</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 放射ノイズ</li> <li>○ 近傍磁界</li> <li>○ コスト</li> <li>△ 実装面積</li> <li>◎ 大電流</li> <li>◎ 放熱</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 放射ノイズ</li> <li>○ 近傍磁界</li> <li>△ コスト</li> <li>○ 実装面積</li> <li>○ 大電流</li> <li>◎ 放熱</li> </ul> |
| 製品   | XCL100/XCL101 (昇圧)<br>XCL102/XCL103 (昇圧)<br>XCL201/XCL202 (降圧)<br>XCL205/XCL206 (降圧)<br>XCL210 (降圧)<br>XCL232 (降圧)                    | XCL208/XCL209 (降圧)  | XCL211/XC212 (降圧)   | XCL104/105 (昇圧)   |

|         |   |  |
|---------|---|--|
|         | トレックス・セミコンダクター  | フェニテックセミコンダクター   |
| 事業形態    | ファブレス   | ファウンドリ   |
| 主な製品    | <p style="background-color: #FFD700; text-align: center; padding: 5px;"><b>省エネに貢献するキーデバイスを提供</b></p> <p><b>電源IC</b></p> | <p><b>ディスクリート<br/>パワー半導体<br/>(SiC、GaN、酸化ガリウム)</b></p>  |
| 今後の重点市場 | <p><b>産業機器</b><br/>5G、IoTモジュール<br/>全固体電池モジュール</p> <p><b>車載機器</b><br/>自動運転、ADAS、車載カメラ<br/>電子ミラー他、様々なECU</p>              | <p><b>産業機器</b><br/>産業用ロボット、鉄道、インバータ<br/>発電施設（風力・太陽光）、パワーコンディショナー</p> <p><b>車載機器</b><br/>EV向けパワー半導体<br/>電装品</p> |



**5G**



**IoT**



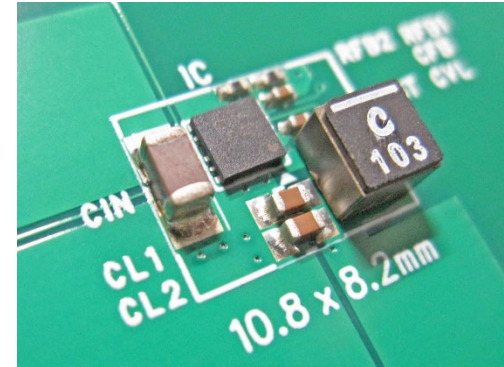
**自動運転**



**EV**

## ドライバ内蔵 ブートストラップ同期整流 降圧DC/DCコンバータ XC9714 シリーズ

- PWM制御、PWM/PFM自動切換制御の制御選択端子付
- 同期整流 Nch-Nchドライバ FET内蔵
- **DFN3030-12A (3.0×3.0×0.75mm) パッケージ**



**XC9714動作基板 (10.8×8.2mm エリア実装)**

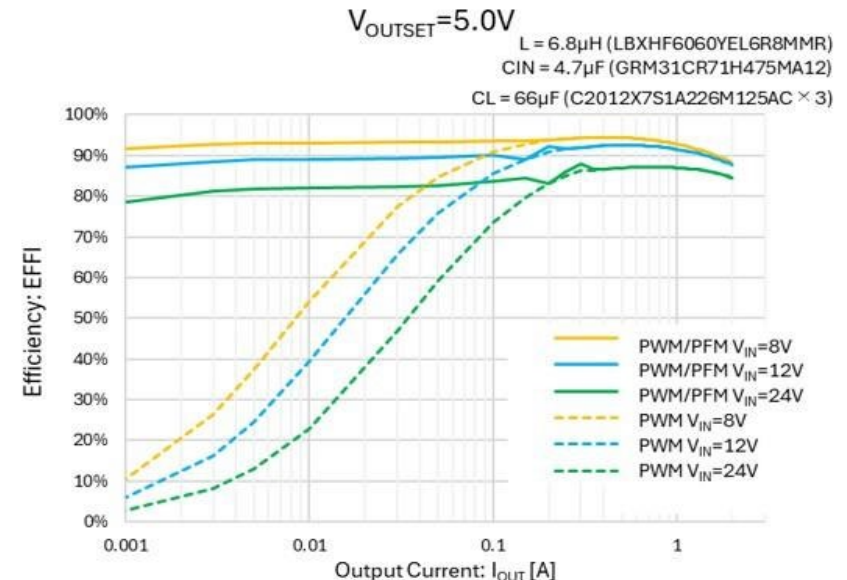
### 製品の特長

- 発信周波数 : 800kHz
- 入力電圧範囲 : 4.5V ~ **36V**
- 出力電圧範囲 : 2.5V ~ 18.0V (外付け抵抗)
- 動作温度 : -40°C ~ **125°C**
- 機能 : 電流制限、出力過電圧保護、サーマル保護  
Lx端子短絡保護、パワーグッド機能、等

### 用途

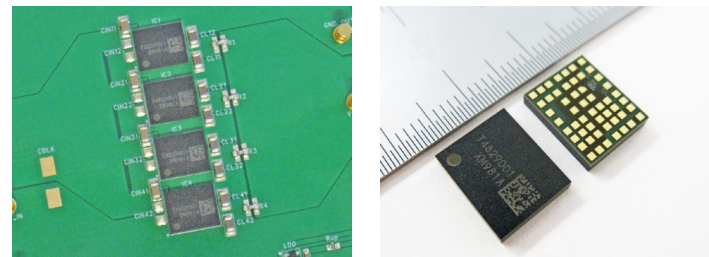
- 12Vバッテリーシステム
- FA機器、産業用センサー、家電製品/電動工具
- 高耐圧LDO置き換え、汎用電源/汎用POL

### XC9714シリーズ 電力変換効率グラフ (V<sub>OUT</sub>=5V)



## 72W降圧 チャージポンプモジュール XCM981A シリーズ

- ・ チャージポンプ方式でインダクタ不要
- ・ 最大出力電流は6Aで、**最大4デバイスまでの並列接続が可能**  
(6A×4並列=24A)
- ・ LGA-52C01A (9.5×11.5×2.1mm) パッケージ



左：4並列基板、右：パッケージ

### 製品の特長

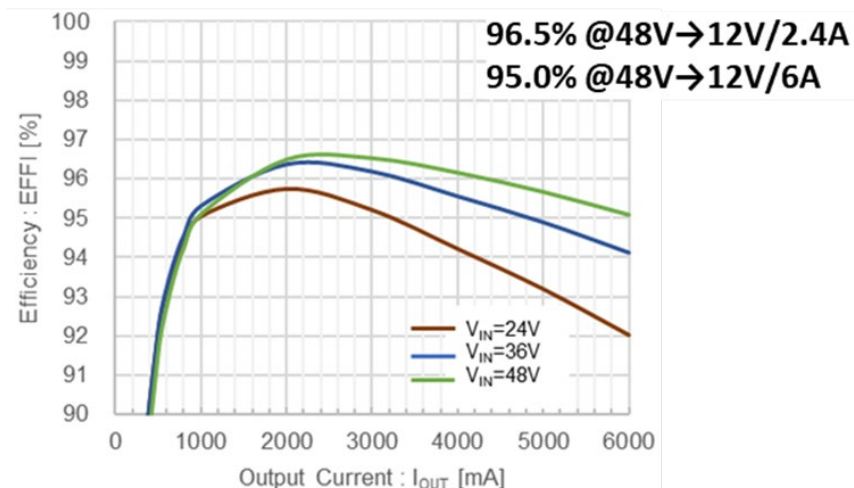
- ・ 発信周波数：270kHz
- ・ 入力電圧範囲：20V ~ **60V**
- ・ 出力電圧：入力電圧の1/4固定
- ・ 動作温度：-40℃ ~ 105℃
- ・ 機能：電流制限、出力低電圧保護、サーマル保護  
短絡保護、パワーグッド機能、等

### 用途

- ・ データセンター/サーバー
- ・ ネットワーク機器、基地局、光通信機器、計測器  
テスター、LEDサイネージ、PoE機器

**3つの周辺部品だけで最大96.5%の高効率で  
出力電力を供給**

### XCM981A 電力変換効率グラフ



**本資料に記載された内容は、2026年5月20日現在において一般的に入手可能な情報と、合理的と判断する一定の前提に基づき、当社が作成したものです。**

**本資料に記載されている当社の中期計画、見通し等に関する記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものです。**

**実際の業績は、これらの要素により本資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。**

**投資に関するご決定をされる際、本資料のみに全面的に依拠することはお控えいただき、みなさまご自身のご判断でなされるようお願い致します。**